

音聲製作口マンドムール

新潟文化祭

concept
ながおか映画祭は、映画を通じて
多文化共生・異文化理解を進めることを
目的としています。

9月13日(土)

11:40～ 開会式 ロマンダムールコンサート

12:10～ **自由と壁とヒップホップ** (86分)
上映後 市民講座 羽賀友信講師 (40分)

14:30～ **夢は牛のお医者さん** (86分)

16:20～ **三姉妹** ～雲南の子 (153分)
上映前 留学生母国紹介 (10分)

19:20～ **GF*BF** (105分)
上映前 台湾の文化紹介 (10分)

9月14日(日)

10:00～ **かみさまとのやくそく ～胎内記憶を語る子どもたち** (114分)

12:20～ **阿賀の記憶** (55分)
上映前 映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画上映会のご案内 (10分)
上映後 小林茂監督トーク「風の波紋」完成直前報告会 (40分)

14:30～ **100年ごはん** (65分)
上映後 大林千茱萸監督トーク (30分)

16:30～ **蜘蛛の地** (150分)

9月15日(月・祝)

10:00～ **100年ごはん** (65分)
上映後 大林千茱萸監督 × 鈴木圭介氏 対談 (30分)

12:00～ **ソウル・フラワー・トレイン** (97分)
上映後 西尾孔志監督トーク (20分)

14:20～ **アオギリにたくして** (120分)
上映後 中村里美プロデューサー トーク (20分)

17:00～ 第16回長岡インディーズムービーコンペティション (約120分) **無料**

ロビーにも大注目!

長岡市在住のコレクター 長谷川浩一さんの「長岡映画今昔」パネル展
展示期間:**9/13(土)～9/15(月・祝)**

トーク出演者との交流やオーガニック食品の販売も予定しています。

入場料

前売券	1回券	1,000円
3日間フリー券		5,000円
当日券	1回券	1,200円
高校生、大学生、専門学校生、 障害・療育手帳をお持ちの方と その介助者(1名のみ)		500円
中学生 以下		無料
東日本大震災・長野県北部地震 被災者避難者		無料

プレイガイド

長岡市：文信堂長岡店、イオン長岡店、ラ・ボントーン
キャラメル・ママ、いろは商店、西時計店、ら・なぶら
長岡リリックホール、長岡市立劇場
アオーレ3F市民協働センター、たつまさ堂
雑本堂古書店、ブックスはせがわ、でくのぼう(与板地区)

新潟市：シネ・ウインド

三条市：キネマ・カンテツ座

十日町市：十日町シネマパラダイス

開会式 ロマンダムールコンサート

ロマンダムール
長岡で活動する神保幸弘によるソロユニット。"ロマンダムール"の意味はフランス語で「恋愛小説」。

自由と壁とヒップホップ



2008年／パレスチナ・アメリカ
カラー／86分／BD

監督：ジャッキー・リーム・サッローム
出演：DAM、アビール・ズィナーティ

自身もパレスチナにルーツを持つ女性監督ジャッキー・リーム・サッロームが描く、若者たちの音楽による

非暴力の抵抗。ヒップホップと出会った若者たちは、音楽の力を使い、占領と貧困がもたらしている分断だけでなく、ジェンダー差別や世代ギャップに至るまで、自分たちを分かť様々な壁をのり越えようとする。

市民講座

講師 羽賀友信



長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
1950年新潟県長岡市生まれ。2008年JICA理事長(緒方貞子)賞受賞、地域づくり総務大臣賞。2009年度長岡市表彰。

夢は牛のお医者さん



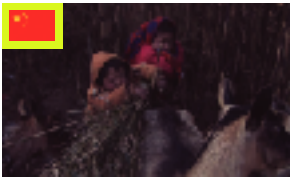
2014年／日本／カラー／86分／BD

監督：時田美昭
ナレーション：横山由依 (AKB48)
製作：TeNYテレビ新潟

1987年新潟県の山あいにある小さな小学校に3頭の子牛が入学した。当時、小学3年生だった少女が牛の世話をするなかで抱いた夢、それは「牛のお医者さん」。難関を乗り越えベツトではなく「家畜」のお医者さんとなったかつての少女は、やがて母となり、かけがいのない「いのち」と向き合いながら今日も闘っている。

留学生母国紹介

三姉妹 ～雲南の子



2012年ベネチア映画祭
オリゾンティ部門グランプリ
2012年ナント三大陸映画祭
グランプリ&観客賞ダブル受賞

2012年／フランス・香港／153分／BD
監督：ワン・ビン(王 兵)

中国で最も貧しいと言われる雲南省の山中の村に暮らす10歳、6歳、4歳の幼い三姉妹。母は家を出、父は出稼ぎにいった。10歳の長女が幼いながら、母親代わりとなり、妹たちの面倒を見て、家畜の世話や畑仕事に一日を費やす。やがて、町から父親が戻り、子供たちを町に連れていくことを考えるが、長女だけが村に残ることになる……。

台湾の文化紹介

GF*BF



2012年／台湾／カラー／105分／BD

監督・脚本：ヤン・ヤーチェ
出演：グイ・ルンメイ
ジョセフ・チャン
リディアン・ヴォーン
配給：太秦

美宝(メイバオ)は忠良(チョンリヤン)が好き。心仁(シンレン)は美宝に片思い。そして、忠良が好きなのは――。1985年から2012年までの激動の台湾社会を背景に、3人の男女の切ない愛と友情を描いた感動の青春映画。それぞれの関係に傷つき悩みながら年齢を重ねていく彼らが選択した幸せとは？

**かみさまとのやくそく
～胎内記憶を語る子どもたち**



2013年／日本／カラー／114分／BD

製作・撮影・編集・監督：荻久保則男
出演：池川明、南山みどり、かがみ知加子

胎内記憶の聞き取り調査や子育ての実践、内なる子供への自己肯定ワークの過程を、カメラは丁寧に見つめていきます。研究者、教育者、たいわ士(胎児や赤ちゃんの通訳)が、子供達と真剣に向き合う姿を先入観なく、ありのままに観ていただきたいのです。そして一人一人がご自身や身近な子供達とのつながりを考える時間を共有できたなら…。

映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画 上映会のご案内

阿賀の記憶



2004年／日本／カラー／55分／16mm

監督：佐藤真 撮影：小林茂
協力：旗野秀人 配給：太秦

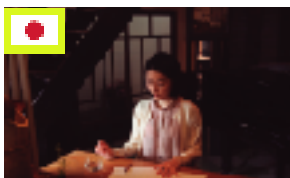
『阿賀に生きる』から10年、映画に登場した愛すべき人たちの多くがこの世を去ってしまった。佐藤真監督と小林茂カメラマンは再び阿賀の地に赴くことを決意する。荒れはてた田んぼや、主を失った棚が裏。人々と土地をめぐる記憶と痕跡に『阿賀に生きる』という映画の記憶が交差し、過去と現在を繊細かつ大胆に見つめた映像詩。

小林茂 監督 トーク「風の波紋」完成直前報告会



映画監督。
1954年生まれ。新潟県長岡市在住。代表作に「わたしの季節」、「チョコラ」。現在「風の波紋―雪国の村から」(仮題)を制作中。第17回米百俵賞受賞。

100年ごはん



2013年／日本／カラー／65分／BD

監督：大林千茱萸
企画・製作：「100年ごはん」製作委員会
株式会社TMエンタテイメント

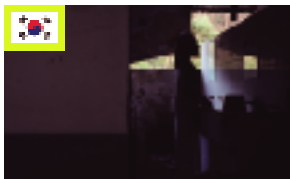
「新しいけど、昔から大切なこと。健全な魂は、健康な食べ物から。健康な食べ物は、健全な土から。」無化学合成農業・無化学肥料の野菜作りを推進する大分県臼杵市は、2010年に、草木8割、豚糞2割を主原料とした堆肥を製造する「臼杵市土づくりセンター」を開設。慣行農業から有機農業に転換する生産者や、あたらしく農業をはじめる市民が現れる。そしてマーケットの現状は？消費者は？将来的には子どもたちの給食を臼杵の野菜でまかないたい。全国でもはじめての試みに試行錯誤しながらも、臼杵市と市民たちが前へ向かってゆく姿をとoshi、現代の「食」にとって何がほんとうに大切かを考える、"ワタシ"から"アナタ"へ宛てたメッセージ。

チグミ

大林千茱萸 監督 トーク

「ふるさとで農業に取り組む人人と未来を考える」

蜘蛛の地



2013年 YIDFFインターナショナル・コンペティション特別賞

2013年／韓国／カラー／150分／BD

監督：キム・ドンリョン、パク・ギョンテ

韓国・京畿地方北部の米軍基地周辺の歓楽街。沈黙が支配する町に、3人の元売春婦の女性がひっそりと生きている。それぞれの口から明かされる凄絶な過去、人生を託して語られる詩的なモノローグは、己の身体とともに残された思い出を愛おしむ女たちの、心の叫びに満ちている。この跡地はほどなく取り壊されるといふ。一生癒されることがない傷を抱えて廃墟をさまよう彼女たちの姿は、あらゆる記憶の忘却への抵抗を伝えている。

100年ごはん

2013年／日本／カラー／65分／BD

監督：大林千茱萸

チグミ

大林千茱萸 監督 × 鈴木圭介氏 対談

「郷土を育み 成熟した食文化を一100年後のアナタにワタシができること」



大林千茱萸
東京都生まれ。「天皇の料理番」元宮内庁東宮御所大膳家主厨・渡辺誠氏に師事し、料理家としても活躍。西洋食作法講師・ホットサンド倶楽部主催と様々な肩書きを持つ。11歳で『ハウス／HOUSE』(77)原案。14歳より映画思想家として、文筆業開始。大林宣彦監督作品では、メイキングや音楽コーディネートなどを担当。AKB48の「So long!」(13) MVでは数エピソードの脚本・演出を行う。うえだ城下町映画祭自主制作映画コンテストでは審査員を務める。本作が単独監督初デビュー作品となる。著者に「ホットサンドレシ100」(シンコーミュージック刊)、責任編集本には「リュック・ベッソン」(キネマ旬報社刊)など。



鈴木圭介
1943年長岡市生まれ。慶應義塾大学商学部卒業後東京青果(株)入社。後に伝統野菜の推進者となった江沢正平氏に師事。1970年 長岡中央青果株式会社代表取締役就任。2000年長岡野菜研究会設立代表。「野菜は文化」という江沢氏の思想をすすめつつ、2004年長岡野菜ブランド協会設立。現在会長。

ソウル・フラワー・トレイン



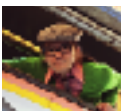
2013年／日本／カラー／97分／BD

監督：西尾孔志
脚本：西尾孔志、上原三由樹
出演：平田満、真凜、咲世子
原作：ロビン西

役場を定年退職した天本は、大阪の大学に通う娘ユキに会いに出かける。大阪に到着し、道に迷った天本は、偶然にもユキと同じ年頃の立花あかねに出会う。不慣れな天本に、時間があるなら大阪観光へ連れて行ってあげると、半ば強引に手を引くあかね。大阪の街の魅力と相まって次第に連れまわされる時間を楽しく過ごすのだったが…。

ヒロシ

西尾孔志 監督 トーク



1974年大阪生まれ。自主制作映画「ナショナルアンセム」が黒沢清などから高い評価を得て、シネアスト・オーガニゼーション・大阪エキシビジョンで第一回シネアスト大阪市長賞(グランプリ)受賞。2014年、第9回大阪アジア映画祭新人監督賞受賞。

アオギリにたくして



2013年／日本／カラー／120分／BD

企画・製作・統括プロデューサー：中村 里美
原作・脚本・監督：中村柊斗
出演：風見しんご、斉藤とも子、原日出子

実在の被爆者・沼田鈴子さんをモデルに、アオギリと被爆した一人の女性(田中節子)の奇跡の物語を実話に基づき描いていく。絶望の淵に何度も立たされながら、やがて節子は平和の語り部として生きていく決意をする。節子がアオギリにたくした思いとは一。壮絶な人生を歩んだ、過酷にして清澄な女性の軌跡。

中村里美 プロデューサー トーク



1986年、アメリカの学校や施設等で一年間、原爆フィルム上映を行う。帰国後、体験記の出版や講演活動を行いながら、27歳で異文化コミュニケーション雑誌「ひらがなタイムズ」編集長に就任。2008年8月6日、「表現の場づくり」と「異文化交流」をテーマに(株)ミュージズの里を設立。2009年より、歌と語りで「いのちの大切さ」を伝えるライブ活動をスタートし、2010年秋には、米国ワシントンの(財)カーネギー地球物理学研究所で海外初のライブを行い、被爆アオギリ2世の植樹を行う。2013年夏に完成した、初プロデュース映画「アオギリにたくして」では、主題歌&挿入歌の作詞・作曲・歌も手がけている。

第16回長岡インディーズムービーコンペティション

全国から意欲に満ちあふれた自主映画が長岡に集結し、その中から厳正な審査を行いグランプリを決定しました。グランプリ作品をはじめ、30分以内の受賞作の無料上映と授賞式を行います。



映画「櫻と朝青」©2013 INOARAKI FILM

DESIGN：高木秀俊	
【協力】 シネ・ウインド 新潟大学附属長岡中学校社会創造科	
【後援】 新潟県 JICA東京 長岡商工会議所 (一社)長岡観光コンベンション協会 長岡口ケなび 新潟日報社 日本経済新聞社 長岡支局 朝日新聞 新潟総局 毎日新聞 新潟支局 読売新聞 新潟支局 産経新聞 新潟支局 長岡新聞社 NHK新潟放送局 BSN新潟放送 N S T TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 ケーブルテレビのエヌ・シティ エフエムラジオ新潟 FM PORT 79.0 FMながおか80.7	
【主催・お問い合わせ先】	
📠コミュニティシネマ長岡	
〒940-0066 長岡市東坂之上町2丁目3-3 雑本堂古書店内	
TEL/FAX 0258-33-1231	
MAIL cc.nagaoka@gmail.com	
ブログ http://cinemanagaoka.blog.fc2.com/	
携帯 090-9639-6855 (関矢 9:00～21:00)	
「ながおか映画祭」 ホームページ http://www.mynet.ne.jp/~asia/	
フェイスブックページ http://www.facebook.com/nagaokafilmes	
ツイッターアカウント http://twitter.com/nagaokafilmes	
ながおか映画祭 検索	

ボランティアスタッフ募集中!!

第16回長岡インディーズムービーコンペティション公開最終審査会【無料】

8月24日(日) 10:30～16:30 (昼食休憩 12:00～13:00)
アオーレ長岡 東棟1階 3Dシアター

一次審査を勝ち抜いた自主制作短編映画作品のなかから受賞作を決定します。これからの日本映画界を担う新しい才能を目撃してください。全作品を鑑賞でき審査にご協力いただける方は事前に上記記載の主催・お問い合わせ先へお申し込みください。